

# 社協だより

2020年10月発行  
第178号

発行者/社会福祉法人 吉賀町社会福祉協議会

鹿足郡吉賀町六日市580-4 吉賀町福祉センター内

電話(0856)77-0136・FAX(0856)77-0980

ホームページ: <https://www.yoshika-shakyo.jp>

## やさしさとふれあいの町

### 『くらしもっと』

「社協だよりくらしもっと」の発行は、共同募金助成金を活用しています。

本誌に写真やお名前を掲載するにあたり、本人やご家族から承諾を頂いております。

【※今月の題字「社協だより」は、谷元美代子さん(沢田)の作品です。(2ページに関連記事)】

## 令和2年 第1回地域支え合い会議開催

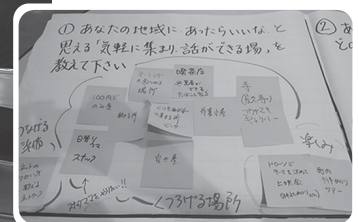
突然ですが、「2025年問題」という言葉を聞いたことがありますか? 「団塊の世代」が後期高齢者の年齢(75歳)に達し、医療や介護などの社会保障費の急増が懸念され、国としてもお金の使い方を大きく見直す必要に迫られています。

吉賀町民が元気で住み良い吉賀町であり続けるために、柿木、六日市、朝倉、蔵木、七日市の各公民館に地域のさまざまな方々が集まり、熱く意見を交わしました。

この地域支え合い会議で集まった意見は、各種会議を通じ、今後の町政への政策提言に活かされていきます。



吉賀町の未来に向けて、参加者が知恵を出し合い、議論し、結果を共有しました。



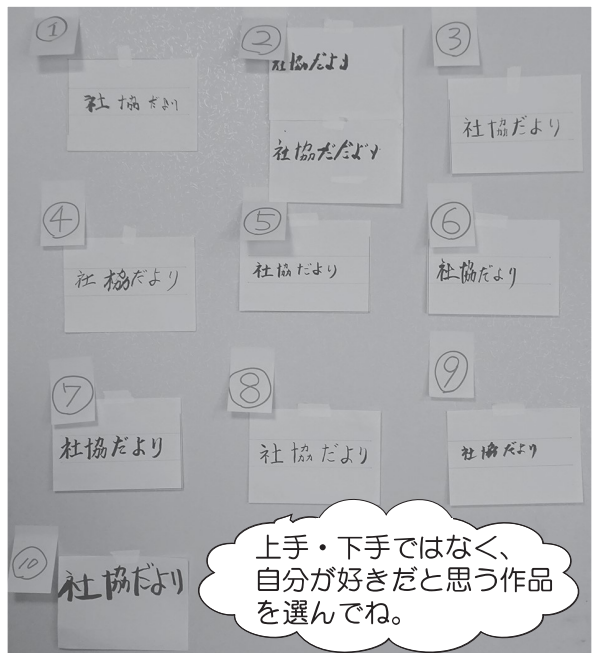
# 「社協だより」題字コンテスト はじまります

今号より、「社協だより」の題字を、町民の皆さまに書いて頂く企画を始めます。編集者が、町内の事業所、サロンなどの様々な場所に毎月お邪魔し、コンテストを開催します。記念すべき第1回目は、障がい者就労継続支援事業所アスノワでの開催となりました。

コンテストは月一回の開催、題字は月ごとに変える予定ですので、機会がありましたら奮ってご参加ください。



《集中！  
今は話しかけないでね》



上手・下手ではなく、  
自分が好きだと思う作品  
を選んでね。

↑《今回は、10作品のエントリーを頂きました》



選ぶ姿も、  
真剣そのもの。「どこに  
投票しようかな？」



《我が選択に、  
一片の悔いなし》



《开票！ 結果はどうだったかな？》

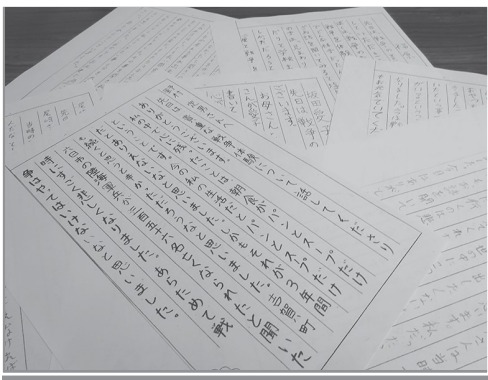
# 平和学習 開催!!

去る9月29日、福祉センターにて平和学習を実施しました。町内から10名の講師をお招きし、六日市小学校の6年生に対して、思い思いの戦争体験を語って頂きました。

講師の方々には大切な写真や手紙、文集などの思い出のある品を披露して頂き、それらを食い入るように覗き込む児童たちの姿が印象的でした。その様子を見たこの日の講師の方々の背中が、いつもより少しだけ伸びたように見えたのは私だけでしょうか？



後日、児童たちの感想文の一部を学校から見せて頂きました。どの感想も瑞々しく、紙面の関係上ここで紹介できないのが大変残念です。社協にてご覧頂くことができますので、興味のある方は是非福祉センターまでお越し下さい。



吉賀町社会福祉協議会では、貴重な戦争体験の語り手を募集しています。平和学習は来年も開催を予定しておりますので、「我こそは！」と思われる語り手の方は、吉賀町社会福祉協議会までご連絡をお願いします。  
☎ (77-0136)

## 『俳句で日記とす』

何かをやるとなるとなかなか踏み切れないものだ。特に苦手意識があると、物事の前で何時間でも悩んでいられる。私は日記を書くことが苦手だ。誰に見られるわけではないのにカツコつけた文章を書こうとするからだ。すぐに何気ない日常に飽きてしまう。

だからバレットジャーナル(家計簿や雑記帳、日記帳などを詰め込んだ手帳のこと)やシステム手帳などを買っても、続かない。記録のツールとしてしか使わないので、余白が多くなる。これでは手帳が可哀想だ。

だが、いい感じに日々の記録をつけたいという我儘な自分もいる。というわけで、最近思いついたことがある。タイトルにもあるように、俳句で日記をつけるのだ。

毎日つけるには少々荷が重いのだが、良いことがあった日や何か気づきのあった日などに俳句を詠み、それを記録する。

何気ない日常を少し気取った文章で。かつこつけの私にはぴったりではないだろうか。

というところでつい最近から句を詠んでいる。いや、もはや、このたった数文字だけで風流人を気取ることが出来る。

誰かに見せるわけでもないのに、気は楽だし、文字遊びと捉えれば面白い。

しかしこのエッセイは特別に俳句を詠めと言いたいわけではない。「面白きこともなき世を面白く」とは高杉晋作の有名な句だ。ちなみに下句は別の人が読んだとされている。

世の中を面白くするかどうかは自分しだい、といった感じの意味であると思われる。

もし苦手なことがあるとするならば、捉え方や考え方を転換させる時なのだろう。もしかすると人生を面白くするチャンスなのかもしれない。

何事も自分次第。

というところで、エッセイをやらんかと言われてやってみることにした。自分次第で楽しい生活ができるのなら、やらないわけにはいかない。

さて今日の一句。

秋寒し 夜に。パク。パク キムチ鍋



社会福祉協議会へ御厚志、誠にありがとうございます。

(令和2年9月1日～令和2年9月30日 受付分)

次の方々より社会福祉事業のために  
ご寄附いただきました。

《香典・玉串返礼として》

寄附者名 住所 故人名

堀本 保 (安芸郡)	堀本 恵美
末岡 和雄 (真田)	末岡 清子
三宅多津子 (抜月)	三宅 和人
房崎 圭三 (注連川)	房崎 茂生
中村 信夫 (六日市)	中村 恵
高木 久美 (田野原)	長嶺 義智
坪井 登 (呉市)	坪井 俊夫
中田みどり (柿木)	中田 隆基



ローソン六日市インター店募金箱設置  
九月の募金金額 5,312円  
ローソン六日市インター店のご協力により、社会福祉協議会の募金箱を設置しています。  
皆様のご協力で厚く御礼申し上げます。

【赤い羽根共同募金助成団体決定のお知らせ】



今年度、赤い羽根共同募金を使って活動する10団体が決定しました。

社協ホームページにて掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.yoshika-syakyo.jp>

11月の“各種相談会等日程表”(相談はすべて無料)

吉賀町共同募金委員会イメージキャラクター



コーニャン(高野楨)



コメ吉(お米)

ひとりで悩まないで・・・



田中 秀樹氏

日時	相談名	相談内容	相談員	場所	予約
9日(月) 10時～12時	法律相談	遺言、相続、贈与、財産分与、多重債務、民事の法律問題等	弁護士 田中 秀樹氏	福祉センター (六日市)	必要
20日(金) 9時～12時	ふくし何でも相談	人権侵害、日頃の悩み等	人権擁護委員 民生児童委員	福祉センター (六日市)	不要
			人権擁護委員 民生児童委員	柿木公民館 (柿木)	不要

日時	催し事名	内容	問合せ先	場所
24日(火) 13:30～15:00	陽だまりの会	認知症の方とその家族の会	地域包括支援センター 77-3123	福祉センター (六日市)

社協の活動への気づき、ご意見等がございましたら、お寄せ下さい。(77-0136)